

あなたの
世界



私にとつて、赤城さんは
とても強くて、頼もしくて、美しくて：
太陽みたいに眩しい。
心が温かくなるくらい、優しいひと

この世界でたつた一人の、
私の一番の戦友。



彼女と一緒に戦える、
これだけで十分。

これだけで十分だつたはずなのに：















赤城さんの
優しさ
頼もしさ

この時
私はやつた
つかつと

彼女の
信頼も

私こそ…

謝らなきや…

彼女の負担に
なつっていた

いけない…頼りになら
なくて…うう…

彼女を抱きしめる
資格すら私には
無かつた

なのに
私が…

赤城さんの力
になりたいと
思つていたのに



：正直に言つたら
あなたを悲し
ませることも
ないのだろうか

加賀さん
今日は変ね

どうかした
のですか？

赤城さん
午後は私と
息抜きにお出かけも
しませんか？

せつからく今日は
出撃もないのだから

うん
いいですよ

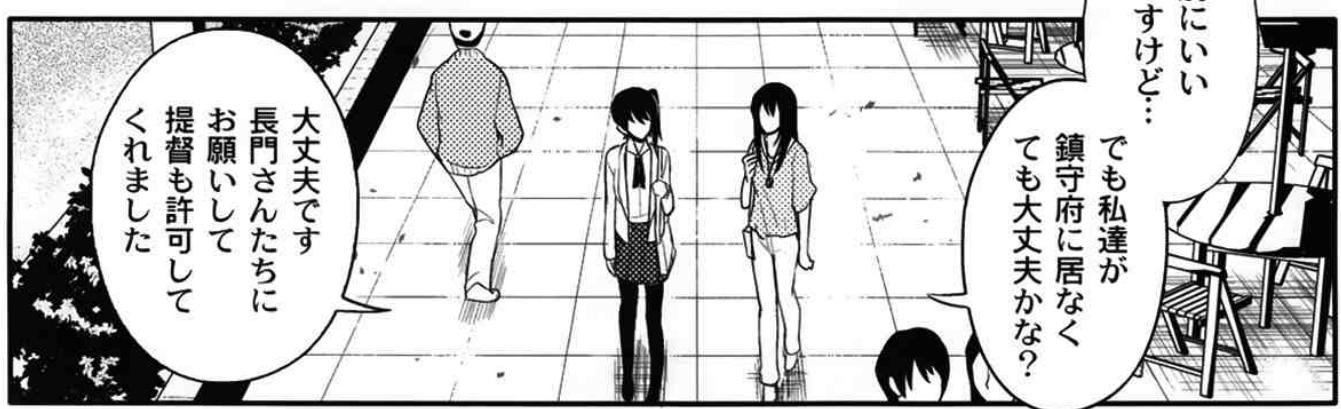
ありがとうございます
では、私服で
いらしてください

今日の私は
これからもつと
おかしくなるかも

私服で？

はい…？

〇〇





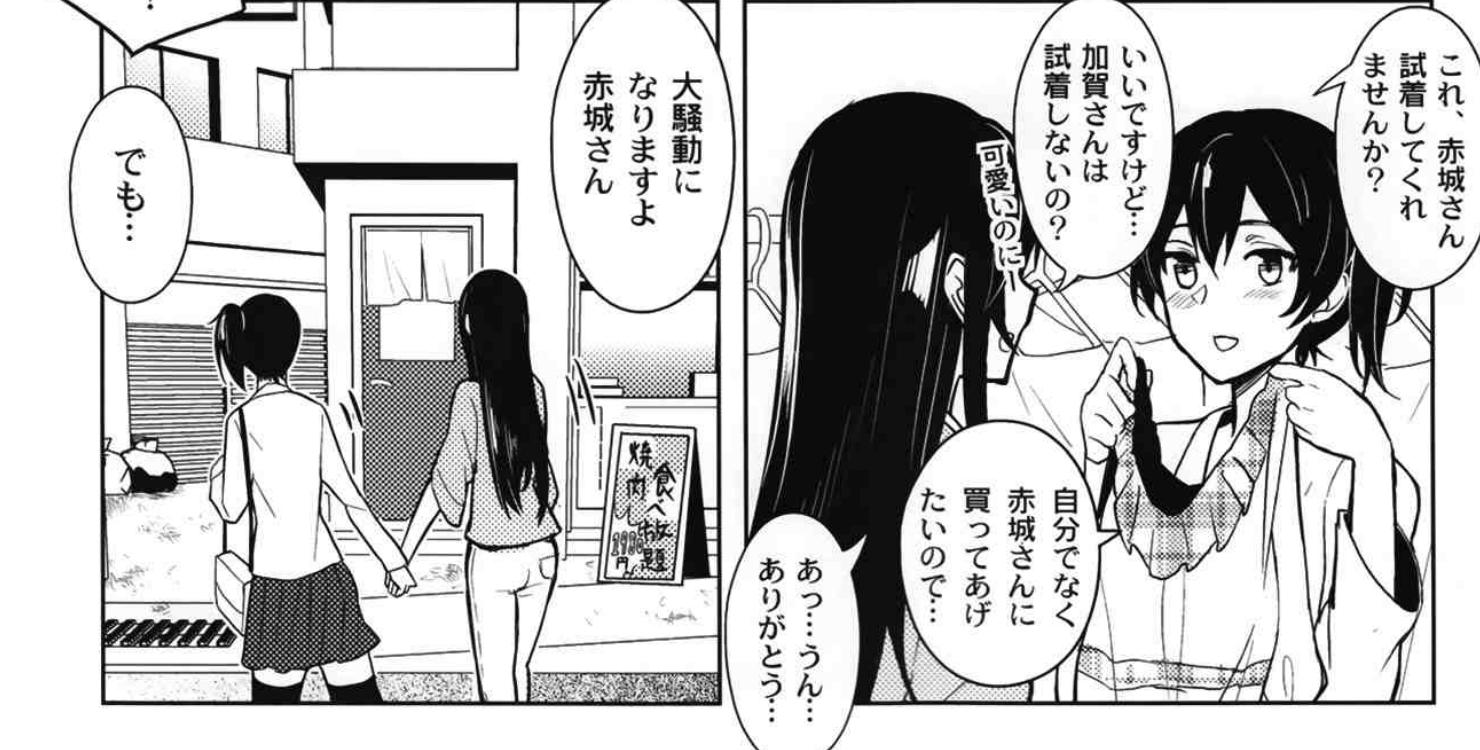
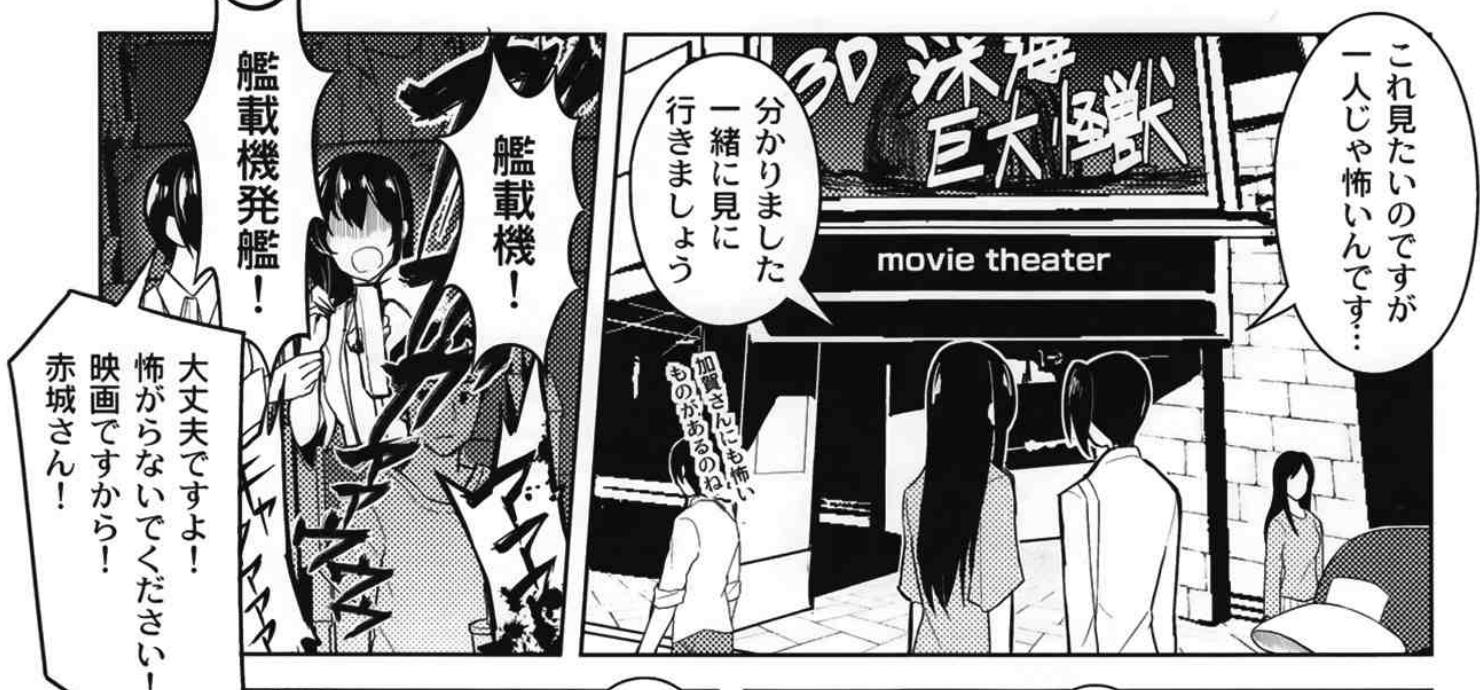
ただ、赤城さんが
可愛いな、と思つて
いるだけです



違いますよ
私は赤城さんと
デートしたいだけです

手伝って
欲しいなら
ちゃんと言つて
くださいよ









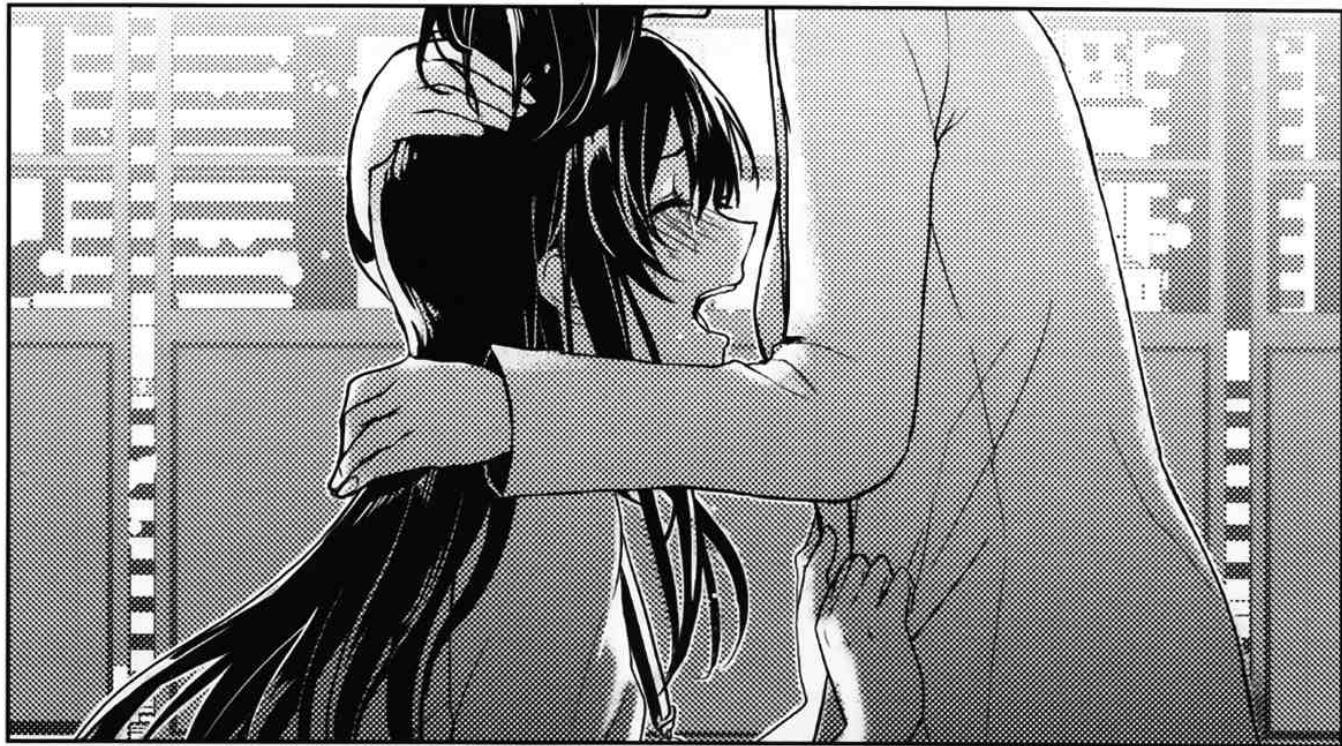
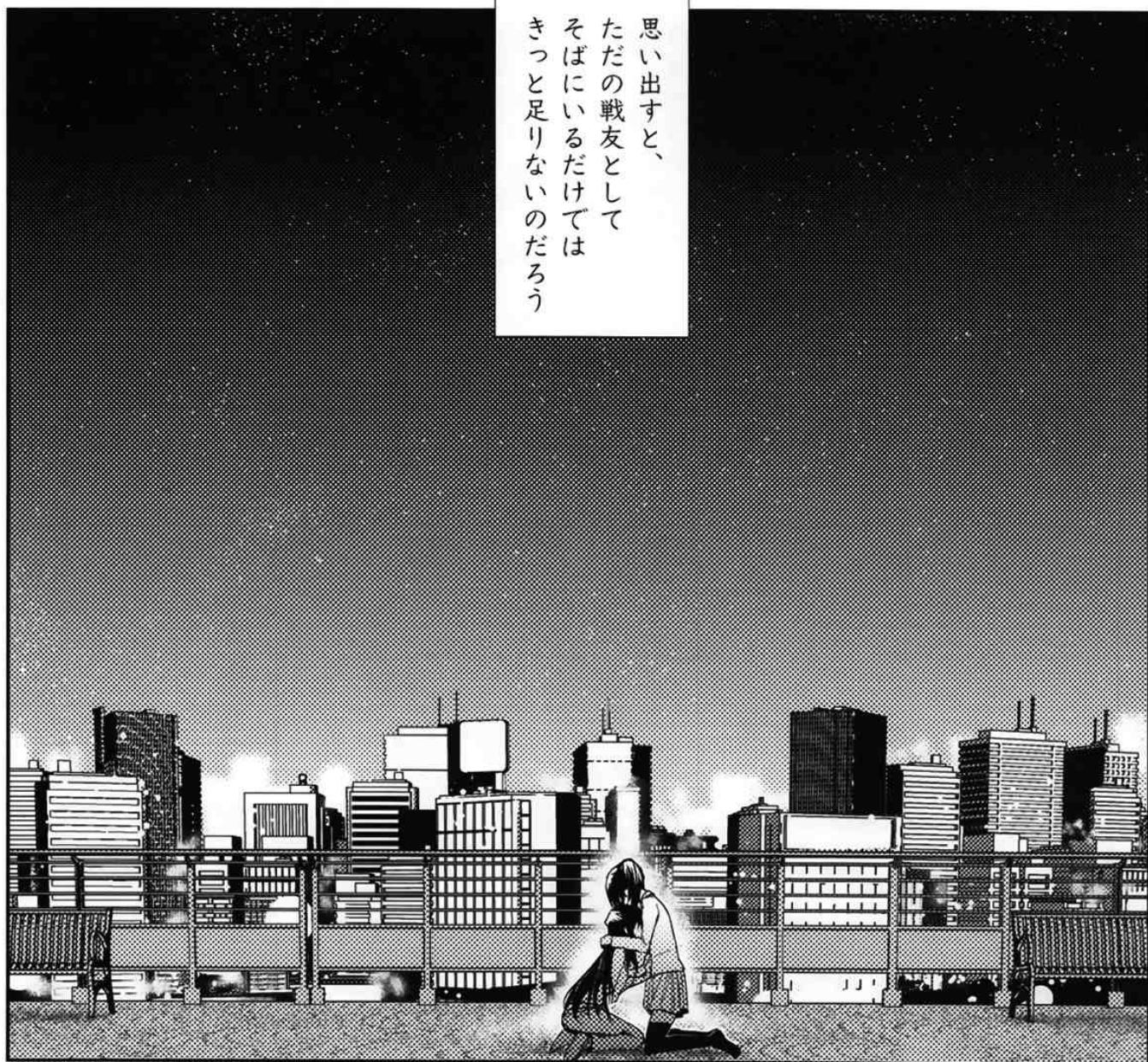






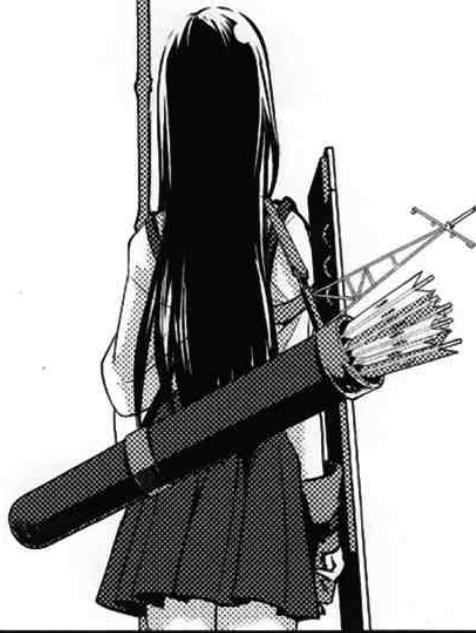


思い出すと、
ただの戦友として
そばにいるだけでは
きっと足りないのだろう



私は
はじめから
ずっと

あなたが
振り返るのを
待つていた



加賀さん！

ニ

あなたの目に
映る瞬間、





END

「あなたの世界へ」

発行 天堂紙（連絡先: mitsulins@gmail.com）

漫画 天堂樹 / 協力 紙路子

(pixiv:9817470 / twitter:itsuki20140102)

印刷 ハイビジョン印刷ドットコム様

2014年 8月 15日 発行

ありがとうございます。



Kantai collection
FanBook Vol.1 天堂樹、